

2025 年4月4日

各位

三井住友信託銀行株式会社

グリーンローンの契約締結について
(川崎重工業株式会社)

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、川崎重工業株式会社(代表取締役社長:橋本 康彦、以下「川崎重工業」)との間で、川崎重工業が策定し、2023 年 11 月 30 日に公表した「サステナブルファイナンスマスターフレームワーク」(以下同フレームワーク)(※1)に基づくシンジケーション方式の「グリーンローン」のアレンジャーに就任し、融資契約(以下「本件」)を締結いたしました。

グリーンローンは、国内外のグリーンプロジェクトに要する資金を調達する際に用いられる融資です。調達資金の使途がグリーンプロジェクトに限定されるほか、資金の追跡管理や融資実行後のレポートイングを通じ、透明性が確保されるなどの特徴を有しています。

本件は、グリーンボンド原則(ICMA)(※2)、グリーンローン原則(LMA 等)(※3)、グリーンボンドガイドライン(環境省)、およびグリーンローンガイドライン(環境省)に即した融資契約であり、また、同フレームワークは、当原則・ガイドライン等への適合性について株式会社日本格付研究所(代表取締役社長:高木 祥吉)により第三者評価(※4)を取得しています。

当社では、グリーンローンなどのサステナビリティに関するソリューションの提供により、SDGs 達成に資するお客さまのさまざまな事業活動を支援するとともに、お客さまの中長期的な企業価値の向上に貢献することを引き続き目指していきます。

<川崎重工業について>

川崎重工業は、創業の理念を引き継ぎ制定したグループミッション『世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する“Global Kawasaki”』の実現に向け、多様で高度な技術力を駆使して社会課題の解決に貢献することにより、新たな価値の創造に取り組んでいます。2020 年 11 月には「グループビジョン 2030」を策定し、その実現に向け、安全安心リモート社会、近未来モビリティ、エネルギー・環境ソリューションの3つを注力フィールドとしています。エネルギー・環境ソリューションでは、「安定したクリーンエネルギーへの挑戦」を掲げ、低コストで安定した脱炭素社会を早期に実現することを目指しています。

なお、同フレームワークは、6種類のサステナブルファイナンス(グリーン、トランジション、トランジション・リンク、ブルー、ソーシャル、サステナビリティ・リンク)での調達を網羅するもので、川崎重工業は、当社が提供する「ポジティブ・インパクト評価のフレームワーク」と合わせ、あらゆるサステナブルファイナンスに対応する仕組みを構築しています。

＜本件(シンジケートローン)の概要＞

実行日	2025 年3月 31 日
アレンジャー兼エージェント	三井住友信託銀行
資金使途(グリーンプロジェクト)	「サステナブルファイナンスマスターフレームワーク」に記載される適格クライテリアのうち、「水素のクリーンな輸送・貯蔵」に関する新規支出及び既存支出のリファイナンス

(※1)サステナブルファイナンスマスターフレームワークの詳細はこちら

https://www.khi.co.jp/pressrelease/news_231130-1.pdf

(※2)国際資本市場協会(ICMA)

スイスに本部を置く(1969 年設立以来チューリヒ)国際団体 であり、 世界 60 カ国の発行体、発行市場・流通市場取引仲介業者、アセット・マネージャー、投資家、 資本市場インフラ運営者等 500 以上の会員から構成 されています。

(※3)ローン・マーケット・アソシエーション(LMA)

欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会であり、60 ケ国以上に属する 700 以上の機関が加盟しています。

(※4)株式会社日本格付研究所による評価の詳細はこちら

https://www.jcr.co.jp/download/c8a63f4649429a3677ab2aaa3054ad322313d4c7282894af1a/23d1181_1.pdf

以 上